プレフィックスの取り消し

- プレフィックスの取り消し （1 ページ）

プレフィックスの取り消し

このアラームは、ピアがプレフィックスを取り消した場合に検出します。

少数の BGP ピアからのプレフィックスの取り消しは、プレフィックスに到達する複数のパスがあるため、必ずしもプレフィックスが到達不能であることを意味しません。ただし、多数のピアが地理的エリアのプレフィックスを取り消すと、プレフィックスの到達可能性が低下する可能性があります。ルータのフラップによるノイズを抑制するために、このアラームのしきい値を他のアラームよりも高く設定することをお勧めします。

（注） 問題にすぐに対処できるように、問題（ルート情報の漏えい、または何らかのタイプの設定不備）を起こしている可能性があるピアを知っておくと役立ちます。[マイピア（My Peers）] ルールは、特定の Crosswork Cloud サブスクリプションでこのアラームに使用できます。[マイピア（My Peers）] オプションは、ピアからの BGP 更新のみに従いますが、[すべてのピア（All Peers）] はピアおよびグローバルピアからの BGP 更新に従います。このオプションを設定するには、Crosswork Cloud Network Insights ポリシーの追加を参照してください。

考えられる検出される問題

このアラームは、プレフィックスの取り消しにつながる設定不備を特定するのに役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをプレフィックスポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）] > [設定（Configure）] > [ポリシー（Policies）] > [ポリシーの追加（Add Policy）] > [プレフィックスポリシー（Prefix Policy）] > [ルールの追加（Add Rule）] > [プレフィックスの取り消し（Prefix Withdrawal）]）。

- しきい値

プレフィックスの取り消し

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。